

水道管の凍結を防ぐには

こんなときに水道管は凍結します！

- ・ 最低気温が-4℃以下になるとき
- ・ 気温が一日中氷点下になるとき

水道管が凍結すると・・・

管の中の水が凍って、体積が膨張して水道管の破損や破裂することがあります。



凍結しそうなときは、
「水抜き栓」の操作をお願いします！

「水抜き栓」とは、凍結しないように水道管の水を抜くための装置です。
凍結が予想されるときは、あらかじめ水抜き栓を操作して、水道管の凍結を予防しましょう。

<一般的な水抜き栓の使い方>

■手動式の場合

凍結を防止するとき(水抜き操作)

- ① 水抜きハンドルを、“水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。
- ② 室内のすべての蛇口を開けてください。立ち上がり管内に空気が入り、蛇口を開けても水が出ない状態になります。
- ③ 水抜きが終わったら、蛇口を閉めてください。

水を使うとき(通水操作)

- ① 室内のすべての蛇口が閉まっているか、確認してください。
- ② 水抜きハンドルを“通水”方向(左回り)に止まるまで回します。通水状態になります。
- ③ 蛇口を開けて、水をお使いください。

■電動式の場合

水抜き栓1本操作用

電源スイッチ

通水ランプ(緑)
水抜きランプ(赤)

操作ボタン

それぞれのボタンを押すごとに水抜き栓が通水と水抜きを繰り返します。

※文字、デザイン、色などは、製品によって異なる場合があります。

- ・ **水抜きをする時期** 冬期間(12月～翌年3月頃)
～凍結の心配がある時には以下の手順で操作してください。～
 - ① **電源スイッチ**をONにしてください。
 - ② 通水ランプ(緑)が点灯しているときは、水を出しながら操作ボタンを押して、**水抜きランプ(赤)**の点灯を確認してください。(空気の導入の為、蛇口は開けたままにしておきます。水は止まります。)
 - ③ 水を出したい時は、全ての蛇口を開けた後操作スイッチを押して、通水ランプ(緑)の点灯を確認してください。
- ・ **水抜きをしない時期** 春・夏・秋期間(4月～11月頃)
水道の凍結の心配はありませんので、通水ランプ(緑)の点灯を確認の上、**電源スイッチ**をOFFにしてください。(電源をOFFにしても水が止まる心配はありません。)

※水抜き栓が設置されている場所をご家庭によって異なりますので、凍結が予想される前に場所を必ず確認してください。

■もしも水道管が凍結してしまったら？

蛇口を開けた状態にしてタオル等でおおい、その上からゆっくりぬるま湯を繰り返しかけて解水してください。熱湯をかけると破損する危険がありますので、絶対にかけないでください。

■解水できない、または水道管が破損、漏水してしまったら？

解水できない場合、また水道管が破損、漏水した場合は多賀城市指定給水工事事業者(8～10ページ)に修繕を依頼してください。修繕にかかる費用はおお客様の負担となります。